

広報広聴特別委員会 会議録

開催年月日	平成30年3月13日（第24回）			
開催の場所	湖西市役所 第1議員会議室			
開閉会時刻 並びに宣告	開会	午前10時00分	委員長	神谷 里枝
	閉会	午後 0時00分	委員長	神谷 里枝
出席並びに 欠席議員 出席 9名 欠席 0名 〔凡例〕 ○は出席を示す ▲は欠席を示す	氏 名	出欠	氏 名	出欠
	楠 浩幸	○	馬場 衛	○
	渡辺 貢	○	中村 博行	○
	吉田 建二	○	神谷 里枝	○
	加藤 弘己	○		
	荻野 利明	○		
	豊田 一仁	○		
説明のため 出席した者の 職・氏名				
職務のため 出席した者の 職・氏名	次 長	尾崎 修	書 記	熊谷 浩行
会議に付した事件	別 紙 の と お り			
会議の経過	別 紙 の と お り			

広報広聴特別委員会会議録

平成30年 3月13日（火）

湖西市役所 第1議員会議室

湖西市議会

〔午前10時00分 開会〕

○馬場副委員長 どうも皆さん、おはようございます。定例会の真っただ中でございますけど、ただいまから第24回広報広聴特別委員会を開会させていただきます。

では、委員長、よろしくお願いいたします。

○神谷委員長 では、改めまして、おはようございます。今、副委員長からもありましたけれども、定例会の最中ではありますが、本日、第24回広報広聴特別委員会を開催させていただきます。着座にて失礼します。

本当に前回の視察のときには、いろいろと皆さんにも御心配、御配慮等をいただきまして、ありがとうございます。おかげさまで、まず2月9日の新居高校生との意見交換会には、本当に足並みをそろえることができまして、よかったです。本当に深く感謝申し上げます。

ホテルのロビーにて、急遽、加賀市において学んだことの反省会等を踏まえまして、勉強会という形ではありますが、一応、内々的に皆さんに御了承いただいていることもありますが、本日、正式な委員会にて、その方向性等について、もう一度、皆さんに御審議いただき、進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

では、本日は、お手元の次第に沿って、進めさせていただきます。

まず最初に、高校生との意見交換会についてということで、お手元に、湖西高校と新居高校との意見交換会を本当にお忙しい中、事務局にまとめていただきましたものがあると思っておりますので、少し時間をとりまして目を通していただいて、皆さんからまた御意見をいただきたいと思っております。

暫時休憩といたします。

午前10時02分 休憩

午前11時00分 再開

○神谷委員長 休憩を解いて、会議を再開します。

では、1月19日に湖西高校生との意見交換会を行いました。それについて感想また反省点がございましたら、御意見をいただきたいと思っております。

馬場委員。

○馬場副委員長 馬場です。

ちょっと古くなって記憶が曖昧なところもありますが、それぞれ生まれ育った場所の自慢、残念な点、大きく前回の生徒さんと湖西市を見る目というのは余り変わらないかなという印象を持ちました。今回、2年生でしたか、対象が。という中で、中身の意見については、やはりちょっと3年生とは違った、前向き、積極的な意見というのがちょっと出にくかったのかなと。我々ができるだけ意見が出るように誘導しても、ちょっと乗りが悪いような感じがしたのです。今度は、たまたま40人でしたか。人数のほうが多かったということと、4班に分かれたということも含めて、できれば、こちら側も3人体制で、そういった意見交換ができたほうが、いろいろな意味で記憶も飛ばないうちに、もうちょっと早い反省ができればと思うのですが、そんな印象がしました。大体、そんな印象を今回の意見交換会では思いました。以上です。

○神谷委員長 ありがとうございます。

では、続いて、豊田委員、よろしくお願いいたします。

○豊田委員 馬場委員からの発言にもありましたように、3年生と2年生の違いかなとも思えたのですけれども、なかなか積極的な発言にならなかった。いわゆるキャッチボールができなかったというのが印象に残っています。どうしても、まず若い人の意見、気持ちを聞きたいというのが先にありましたものですから、最後の議員に聞きたいところのところでは、それなりにいろいろなキャッチボールができましたけど、前段の質問の中で、こちらサイドからいろいろなコメントを挟むというのが少し少なかったかなという反省はあります。申しわけない、ちょっとそれ以上

の、今のところ記憶がたどれなくて。以上です。

○神谷委員長 ありがとうございます。

では、続いて、加藤委員、お願いします。

○加藤委員 確かに、今までよりは湖西高校は静かだなとは思いましたが、消極的だけ出る意見は結構、残念な点とか、そういうところに出ているので何とか返してやりたいなと思ったけど返されないところもありましたし、今回は、どういうふうにすればいいか、ちょっとわからないのですが。やはり議員はどういうものかなというものと、議員にもやはり期待しています。そういうことは感じました。私は中村さんと一緒だったけど、議員同士で意見が食い違ったことがありましたので、いろいろ真剣な意見を出してきているなど。細かいことは忘れちゃったのですが、そういうふうには思っています。ですから、やっぱりよかったです、意見交換会はやるだけでも。うまくまとまらないかもしれないけど、よかったですと思っています。以上です。

○神谷委員長 ありがとうございます。

では、続いて、吉田委員、お願いします。

○吉田委員 高校生との意見交換を通じて、高校生年代の人たちの意見が聞けたということがよかったかなと感じました。例えば高校生の皆さんは、自分たちが遊ぶゲームセンターが欲しいとか、あるいはショッピングできるようなところが欲しいとか、いわゆる若い人たちの気持ちを本当に赤裸々に率直に発言されているということで、福祉の問題がどうだとか、生活環境がどうだとかという視点ではなくして、やはり若い人たちの視点でのいろいろな意見があったなということをも率直に感じたということ。

それと、あと一つは、18歳の選挙権については非常に関心が低いとか薄いなという、そんな印象を持ったです。したがって、18歳の選挙権をしっかりと行使していただくためには、行政とか、そういうものに対して、もっと関心を持ってもらうとか、勉強していただくとか、そういう働きかけを我々議員の立場でどういぐあいにしていっていいのかなというような、そんな点を1つの課題として感じたというのが感想です。以上です。

○神谷委員長 ありがとうございます。

では、楠委員。

○楠委員 全体を通してということなのですが、なかなか議会として取り組む課題ですとか、執行部と共有すべき課題というふうに整理するには、難しい意見交換のやり方だったと反省しているのです。なので、今後、せっかくの高校生の意見をやっぱり政策なり、行政への提言なりに持っていこうとしたときには、多々意見を聞くというよりも、彼ら、彼女たちにもまとめてもらうようなワークショップのような形をとっていくのも、今後の政策課題に結びつけるには、そのほうが我々としてもやりやすいのかな。意見が出にくかったとかというお話がありましたけれども、やっぱりそれはファシリテーションのテクニカルなところも我々は勉強しないといけないところだと思いますし、これはやっぱり高校生に限らず、議会報告会であったり、いろいろな団体との意見交換会をこれからやっていこうという上では、やはり我々も習得しなきゃいけないスキルなのかなと少し反省をしております。以上です。

○神谷委員長 ありがとうございます。

では、渡辺委員、お願いいたします。

○渡辺委員 率直に言って、6ページの一番上に書いてあるのが当時の印象だったかなと思います、思い返しても。だからということになるのですが、新居高校の記録を今こうやって見ると、比較して見ると随分違うなと強く感じちゃうのですが、その前にやった湖西高校と比べると似たようなものかなということで、余り期待もし過ぎてはいけないなど。主権者教育とか、まちづくりに関心を持ってもらうという点では、地道にやっていく必要があるかなと。新居高を考えると、事前の学習とか用意とか、そういうのをやると、やっぱり違うかなということで、我々もそうですけれども、事前に課題が与えられるとやるのです、みんな。準備をする。だもんで、学校側の対応次第ですけれども、余り無理強いしてはいけないと思いますけれども、こういうことで少し事前に考えてくれるとありがた

いねというようなことをしっかりまた事前に言って、それでこの場に臨んでもらうと。その結果については、余り期待を持ち過ぎてはいけないなど。やったこと自体は評価されるべきだと思います。以上です。

○神谷委員長 ありがとうございます。

荻野委員、お願いします。

○荻野委員 私も皆さんと同じだと思うのですが、とにかく若い人たちの意見を聞けたというのが非常によかったなど。ふだん自分の周りに高校生なんていませんから、そういった意味で、若い17、18歳の子供たちからいろいろな意見を聞けたというのはよかったなど。

それと、もう一つ、18歳選挙権で肯定意見、否定意見があるわけですが、でも高校生たちにとってみれば、この役所へ来て、市長とも顔を合わせ、我々議員とも接触して、何らかのやはり変化というのはあったのではないかなという、非常に高校生たちにとっても有意義な内容だったのではないかなと思います。今、渡辺さんも言いましたけれども、余り期待する必要はないと、我々も。ただ、こうして接することが1つの成果ではないかなと思いました。

○神谷委員長 ありがとうございます。

では、最後に中村さん、お願いいたします。

○中村委員 私は、高校生の中で積極的に考えてくれている人もいるし、ただ出されたものについて答えをするだけの簡単な気持ちでいる人もいるということで差があるなと思いました。それで、そういうのは、やっぱり事前的な学校のほうの出されたテーマについても考えるという予習がされていたのかなという思いでいました。積極的な意見を出せる人と出せない人もいたし、何かそんな感じで、私も18歳の選挙権については、まだ高校2年生だと、はっきりこうだというような意見がないような感じを受けました。やっぱりそういう意味でも、荻野さんも言われたように、いろいろ議場を見るとか、市長に会って、いろいろと話を聞くということ自体でも啓発になるかなという感じは受けましたので、余り期待せずに継続していくべきではないかなと感じました。以上です。

○神谷委員長 ありがとうございます。

私は、ちょうど9人ということで4つのグループをそれぞれ、ぐるぐる見させていただいたという中で、本当に余り印象に残っていないのが正直なのですが、一番奥のお部屋が楠委員と豊田委員のところ、皆さん、結構、日ごろ感じている部活動のこととかも何か楽しそうに話をしていて、活発な意見が出ていたなという印象は残っているので、全体的な雰囲気というのがちょっとつかみにくかったなというのは正直あります。ありがとうございました。

では、今出た意見をそれぞれのカテゴリーで分けて表記したと思うのですが。

〔不規則発言あり〕

○神谷委員長 暫時休憩いたします。

午前11時52分 休憩

午前11時55分 再開

○神谷委員長 休憩を解いて、会議を再開いたします。

湖西高校生との意見交換会の報告書に関しましては、2ページから5ページまでをそのまま使い、その後にもう少し精査した資料を添付、そして、今、皆さんからいただいた感想なり反省は載せさせていただきまして、あと総括の文言をつけ加えて完成といたしたいと思います。それについては、たたき台の資料ができてきましたら、多分また皆さんにメールで送信していただいて、次の委員会でもたまたまみたく思います。ということで、よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○神谷委員長 では、次に新居高校生との意見交換会の感想をお伺いしたいと思います。

では、今度は逆から行きます。

○中村委員 新居高校生との意見交換会では、高校生が一応司会をしてくれて進めていただのだけれども、どうも高校生自体がまだどうやって進めていいかということが私にはわかっている面とわかっていない面があって、積極的にいろいろ我々に振ってくるのが少なかったように思えました。それで、議員の中でも考え方が統一していないので、賛成のような意見もあったり、反対のような意見もあったりしながら進められたように私は記憶しています。それなりに先生は配慮してくれて準備もしてくれていると思うのだけれども、ちょっと高校生のほうが我々に対して遠慮していたように感じました。いろいろ意見交換するということは、これからにつながると思えるので、このような形でもっと進めることを続けていきたいと思います。以上です。

○神谷委員長 ありがとうございます。

では、次、荻野委員、お願いします。

○荻野委員 新居高校についても、やはり湖西高校と同じで、私としては高校生の意見が聞けたのと、18歳選挙権とか、子供たちが少しは身近になったのではないかなと、議場を見たり、議員と接することによって。

それと、高校生が司会をやっていたのですけれども、私はそっちのほうがいいような気がしました。やっぱり、いつもより出たのではないかと。無理やりさせて意見言わせるというよりも、あれは何か自分たちで考えてきたと思うのです、メモも見てたから。そういった意味では、いい意見が出たのではないかと思います。

○神谷委員長 ありがとうございます。

では、お願いします、渡辺委員。

○渡辺委員 私の印象は、私のグループの司会者は大変いい司会者で、大変よかったなと思っています。

それから、事前の話合いが、高校生の中でもうできているという印象を持ちまして、これに対する準備をしてくれていたなということがもろに伝わってきて、好印象を持ちました。こういうやり方でやってもらえるといいなと、大変満足しています。以上です。

○神谷委員長 ありがとうございます。

では、楠委員、お願いします。

○楠委員 新居高校のほうは、かなり時間を事前にもかけていただいて、準備をさせていただいて、意見交換に臨んでいただいたというのがよくわかる意見交換会でした。これで、我々も高校生との意見交換会を通じて、私たちとしては若い人の意見を聞けたというのは、そろそろメリットとしてはいいのかなと感じているところで、やっぱりそれも私たちだけではなくて、高校生側に対してどういうことを感じてもらいたいのかなということをもう少しにおわせるような意見交換会にしていけないのかなという、次のステップへ進んでいく時期に来ているのではないのかなと感じました。比較的、新居高校生との意見交換会はスムーズに行うことができたというのが大きな感想です。以上です。

○神谷委員長 ありがとうございます。

では、吉田委員、お願いします。

○吉田委員 ちょうど今、渡辺委員、それから楠委員、それと私と同じ最後のC班だったわけですがけれども、私の感想としては、高校生年代のまず意見が聞けたということはよかったなという。若い人は若い人なりの行政というか、町に対しての見方、そういうあれがあるのだなと。やはり若い人中心の眼で見つめていらっしゃるなということを学んだ。

それと、あとは意見交換ですけれども、本当に事前学習がされていたということで、我々は高校生との意見交換と言いますけれども、彼らから言えば議員との意見交換ということで、議員に対してどういう意見を発言して、何を議員から聞こうかということが本当に明確になっていたなということをもまず感じました。それと、発言は全生徒さんが順番にずっとやっていて、事前の準備があったということと、内容も精査されていたということで、非常にそういう点では充実した意見交換会だったなと、そんな印象でございます。以上です。

○神谷委員長 ありがとうございます。

では、加藤委員、お願いします。

○加藤委員 私の場合、新居高校の子たちはよく勉強してきたこともありますけど、例えばの話、コーちゃんバスが少ないと、これは誰でも感じていることなのですけども、そのときに馬場委員と荻野委員が、実はこうこうこういうふうで少ないんだよと、今は、こういうようなことも考えているよと。それと、例えばお店だとかコンビニが少ないとか、いろいろ言うのだけれども、一歩突っ込んで費用対効果を考えたら、そんなやたらにできませんよと。そこら辺まで突っ込んだので、それがいいのか悪いのかわからないのだけれども、いいと思いました。私は書記に徹していましたので、ほとんどしゃべらなかつたのですけれども、かなり新しい娯楽施設が欲しいと。それをつくるにはどういうふうにしたらいいか、お金がどういうふうになるか、そこら辺まで突っ込んで話をされたということで、コーディネーターの人の力も大きいなと思いました。高校生もそういうふうでしたし、コーディネーターも、アドバイザーもそういうふうでよかったなと思っています。以上です。

○神谷委員長 ありがとうございます。

では、豊田委員、お願いします。

○豊田委員 1つ、これまで過去2回行った意見交換とは違って、高校生が司会進行ということで新しい方向性を出していただけたなど。次のステップに移行しつつあるのかなという印象は持ちましたし、それから、子供たちもそれなりにいろいろ勉強してくれてきたのかなという感想はあったことは事実です。当日、いろいろな班に分かれてやったので、ほかの班の方の話を聞くと、やはり若干進行の方の考え方で各グループごとの差が出たのかなという感覚はあって、これがいいことなのか悪いことなのか、ちょっと判断がつかないところもあるのですけれども、1つ次のステップに移行できてきているのかなということで考えております。以上です。

○神谷委員長 では、馬場委員、お願いします。

○馬場副委員長 今回、初めて高校生による司会進行ということで、新しいやり方ということで。

それと、もう一つ、学校へ行って意見交換ができると。自分の場所で議員と話せる、これは大変、生徒、子供さんにとっても、プレッシャーからすればかなり違うと思いますので。事前準備もそのとおりなのですけども。ただ意見交換会の中で、先ほど加藤委員のほうからも出ましたですけど、今、市の思っていること、我々の思うことが、聞くのも大変重要なことだったのでですけど説明できた。ある程度理解できたというのも、結構成果になるのではないかなというように感じました。なぜコーちゃんバスがきめ細かなところまで行けないかというような話も、そのときの費用対効果等のもろもろの話まで結構説明できて、理解していただけたところもあったものですから大変よかったな。やはり、今、若者が何を考えているということもかなり聞けたということも成果だと思っています。

ただ、もうちょっと欲を言うと、事前にも質問事項がそれぞれ割り振られていて、それをしっかり質問された、話をされたというのはいいのですけれども、それに対して答えたことに対して、もう1人違う方から意見が出ると本当にキャッチボールなのかなという印象でした。以上です。

○神谷委員長 ありがとうございます。

私は一番最初のグループに所属させていただきまして、本当にちょっと司会進行の子が控え目なおとなし目の子でしたけれども、意見はそれぞれ出ておりました。先ほど皆さんからもありましたように、出た意見に対して逆に議員サイドのほうから、それについてどうしたらいいと思うというようなこと、また、本当に加藤委員からもありましたけれども、でも実際はこうなんですよという、私たちの立場からのお答えも結構たくさん今回はできたのではないかなと。本当に高校生の方に、また学校をお貸しいただいて取り組ませていただいて、大きな一歩が前に進めたかなという思いもあります。

そして、帰り際に先生のほうが、いや、本当に話をこんなに深く掘り下げることができて、すごく勉強になりましたというお言葉をいただいて、やはり私たち議員が司会進行も全部やってしまっていると、なかなかそういった部分

も入りにくいのですが、高校生さんにリードをとってもらって私たちが答えるという形のほうが本当はいいのかなという印象を持ちました。以上です。

ありがとうございます。

では、こちらのほうも、今、皆さんからいただいた意見はまとめさせていただいて、それこそ本当に総括はつけさせていただきます。

申しわけありません。両方、湖西と新居の報告書の中で、誤字・脱字で気がついた点がございましたら、よろしくお願ひしたいと思ひますが。どうします、いいですか、聞かなくて。

○事務局 個々に言っただいて。

○神谷委員長 じゃあ、個々に言っただければ結構です。ありがとうございます。

では、時間がなくなりましたので、2番目のタブレット導入の検討についてということで進めさせていただきます。

タブレット導入は、それこそホテルの中で皆さんで勉強のことで話をいただきまして、一応、前へ進めていこうということで加賀市さんに倣ってプロジェクトチームを立ち上げて、導入計画の作成や実技研修を行っていただきたいということをおおむね話し合ひをさせていただきました。本日、改めてこの委員会でタブレットの導入の検討について、皆さんにお諮りしたいと思ひます。まず、広報広聴特別委員会としましては、タブレット導入に向けてプロジェクトチームを立ち上げていくということでよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○神谷委員長 ありがとうございます。

では、プロジェクトチームを立ち上げるにつけ、前段で御了承いただいております楠委員、豊田委員、渡辺委員のこの三方にプロジェクトチームとしてなっただきたいと思ひますが、よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○神谷委員長 願ひします。

そこで、先ほど申し上げましたように、導入計画書の作成とか、また実技研修等の計画も立てていっただきたいと思ひます。こういった点について、何か皆様のほうから御意見があれば伺いたいと思ひますが。

楠委員。

○楠委員 研修なんかは、この特別委員会で研修の費用の予算とかはあるのですか。来年度になるかと思うのですけれども、どうでしたか。

○神谷委員長 では、事務局願ひできますか。

○事務局 予算の関係なのですけれども、来年度におきましては、この広報広聴特別委員会の予算として、ことしも同様に視察を予定の予算はとってあります。ただ、それが5万円掛ける人数分という形で枠組みになりますけれども、予算計上させていただいております。その中で、一応このプロジェクトチームで近隣に行くのか、それになりますけれども、その中でも、もし必要であれば、その中で対応という形になるかと思ひます。近いところであれば、費用も、例えばプロジェクトチームにおいて公用車で行くとか、そういう形も考えられますし、そういう形で対応となります。よろしく願ひいたします。

○神谷委員長 楠委員。

○楠委員 先進の自治体でもうタブレットを導入している自治体は、県内ですと御殿場市と袋井市。御殿場市も袋井市も同じ業者さんが恐らく入っているのですよね。そこを見に行くのもいいのですけれども、業者さんにプレゼンをやっただ研修をやっただもらうとなると、確か8万円プラス交通費ぐらひの費用で実機を持ってきてくれて、体験もさせてもらひ、時間はちょっとわからないのですけれども、そういうようなことも可能です。なので、予算があるというので少し安心しましたが、どんなふうな。

ただ、プロジェクトで進めるのもいいのですけれども、この特別委員会の中で何のためというのは勉強会でもお

話ししたのですけれども、何のためにタブレットを導入するのかというのは、せめてこの委員会の中でフィックスしておかないと、機種を選定ですとかソフトですとか、いろいろ選定に当たっては変わってくると思うので、その部分については皆さんとベクトル合わせをしておいていただきたいと思います。以上です。

○神谷委員長 ありがとうございます。

どうぞ、事務局。

○事務局 済みません、予算の関係も、今、楠委員からお話が出ましたので、その関係も含めて、プロジェクトチームの日程的なものになりますけれども、これでプロジェクト会議や実技を研修した中で、事務局で考える中では、8月ぐらいには、ある程度の導入計画書、もしくは田原市でもいただいた資料の中にありますけれども、取り扱いの要綱等、注意事項等をまとめた、そういった規約についても、ある程度まとめたものを8月ぐらいに広報広聴でまとめ上げて、議会運営委員会のほうへ、そういうものを提出。そして、議会運営委員会で予算編成が大体やはり10月、来年度の予算がある程度関係する中、Wi-Fiの整備とか、そういったものも情報政策においても必要になってくるものも出てくると思いますので、そういったことを考えますと、ある程度8月ぐらいまでにまとめ、議会運営委員会で予算編成を10月ぐらいまでには、ある程度の方向性を出していくという、そんな予定にイメージとしてなろうかと思われましたので、今、御報告させていただきました。以上です。

○神谷委員長 ありがとうございます。

導入に向けてプロジェクトチームを立ち上げて、実技研修等も行い、ですので、来年度、約1年かけて導入に向けて方向性を固めていき、正式には平成31年度からという形になるのかなと、今、解釈しましたけれども。そういった形でよろしいですか。今の予算の関係からいきますと、そういう形ですね。

はい、事務局。

○事務局 もしくは、予算については、もう1年のまとめを3月までまとめた中で次の10月というのもありますけど、今、最短の日程となります。以上です。

○神谷委員長 ありがとうございます。

おおむね、今、タブレット導入に向けての方向性が何となく見えてきたかなと思いますが、この件につきまして、何か御意見のある方はお願いいたします。確認しておきたいこと等でも結構です。

豊田委員。

○豊田委員 タブレットという表現にこだわるかどうか。例えばラップトップのパソコン、ノート型のパソコンというものが対象として考えていいかどうか。全員が同じものを持って運用するという形になっていくのか、それとも、中には、今、携帯型のパソコンをお持ちの方もいらっしゃるわけですよね。そういったものを生かせるという前提で考えていいかどうか。

○神谷委員長 事務局。

○事務局 今の豊田委員の御意見ですが、やはり、そういったITC、情報通信技術の活用ということで、ここでパソコンやタブレット端末とかというのが、今後、導入計画書の中の定義としていろいろ出てきますので、これについて、またプロジェクトチームで精査していただいて、タブレットだけではなくパソコンもということも、使い勝手とかをいろいろ確認した中で導入計画書にうたっていくような報告書をつくっていくという形でよろしいかと思います。

○神谷委員長 マイクをお願いします。

○豊田委員 くどいようですけれども、議会へのITの導入という広い意味で考える中で進めさせてもらっているのか、あくまでタブレットという狭い世界の考え方で求められるのか。その辺は、一応、委員会の皆さんの御了解いただいとかなないと選択の幅が変わってくると思いますので。一つには、今、いろいろなものを持っていらっしゃるの、それが対応できるのであれば、それでもいいのではないかと、無理に新しいものを購入する必要はないのではないかとというような選択の考え方もあります。それから、ないしは、いやいや、そんなことをしないで、個人負担ではなくて

も公費で貸与するのだとか、支給するのだとかいうような考え方も出てくるかもしれませんが、進めていく中でプロジェクトチームの考え方と皆さん方の考え方と食い違って、あとで調整するというのも厄介なものですから、一応プロジェクトチームに預けていただける範囲というのを確認させていただきたいなと思いました。

○神谷委員長 楠委員。

○楠委員 そういった意味で、こういった会議でタブレットでちまちまやるのがいいのか、キーボードがついた事務局が持っているパソコンをこういう会議で使えるようにするとかいうのであれば、必ずしもタブレットにこだわる必要はないだろうと思いますし、先ほども言ったように目的を明確にしておけば、そういった選択肢も広がったり狭くなったりもするかと思いますので、その部分を次回の委員会でも結構ですので、目的をしっかりと議論する場を設けていただきたいなと思います。以上です。

○神谷委員長 加藤委員。

○加藤委員 少なくともタブレットだけではなくて、タブレット等でやって、いろいろなことを考えてもらって、最終的にタブレットのほうがいいよというのだったらそれでいいので、まず大きく考えていただいていると思います。

○神谷委員長 渡辺委員。

○渡辺委員 私は余り機械が詳しくないものですから、メンバーに入っていますけれども、内々、楠さんやってちょうだいよとチーフをという話をしたのですが、今おっしゃったように楠委員としては、目的がはっきりしないとその進め方が違うので、そこら辺はみんなの合意をとってもらわないと仕方ないねという話で、きょうもしきりにそういう話が出ているのですが。私は機械のことがよくわからないもので、まず思うのは、私どもの任期があと1年なのです。ひょっとしたらかなりメンバーチェンジがあるのではないかなということも想定される中で、これをこの1年の中でどうやって、どこまで進めちゃっているのかなという心配があるのです。そういう意味で豊田委員の意見も、それなりの考えだなと思います。

この件については、私は、関東の守谷市と、その田原市は何回も行っていきますし、今回も行ったところもあるし、いろいろ事例を見てみると、やっぱりいじってみないとわからないなど。そういう思いがあって、田原市も業者に来てもらって、みんなでいじってみるということをやったという経過がありますので、そういうのを重ねながら、なぜペーパーレスではなくて、非常に議員が勉強しやすいように、見やすいようにという議会活性化のためにやるのですよというようなことをしきりにほかの皆さんが言っているもので、大体行き着くところはそこらへ行くのかなと思いますけれども、時間設定の問題、それからいじってみないとわからないというような、そこら辺をどうするのかということ、ある程度、案をちょっと出していかないと、個々にしゃべれといっても、なかなかこの件については難しいかなと思いますので、また、そこら辺も次の機会のときに、基本的にはこんな考えを持っているのだけれどもと。

それと、あともう一つは、データ処理の問題は、事務局にまた負担をかけちゃうもので、そこら辺の手間は一体どの程度あるのかなというようなことも事前に勉強して、そこらを提供しながら皆さんの意見をまた求めるというようなことをやっていったらどうかなと思いますけれども、どうでしょうか。

〔不規則発言あり〕

○神谷委員長 暫時休憩とします。

午前11時52分 休憩

午前11時55分 再開

○神谷委員長 では、休憩を解いて、会議を再開します。

先ほど渡辺委員のほうから御提案がありましたように、いろいろな任期の問題とか、各市の状況、いろいろありますので、まずはプロジェクトチームの方で資料等をそろえていただきまして、また、この委員会で検討させていただきたいと思います。そういった方向性でタブレット等の導入については進めていきたいと思いますが、こういった方

向でよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○神谷委員長 ありがとうございます。

では、3番目、その他について、何か皆さんのほうからございますか。

楠委員。

○楠委員 タブレットの計画も上期までにほぼ完了するという日程感とあわせて、高校生との意見交換会も次年度どうするのかという年計を早目に大枠、大体この月に何をやるというような年計を次回御提案とか、この中で諮っていただきたいなと思います。いろいろと皆さんも御予定が、これから年度の計画を立てられると思いますので、早い段階で年計をお願いしたいと思います。以上です。

○神谷委員長 ありがとうございます。

高校生との意見交換会も、できれば年度内に学校へお邪魔をして、ちょっと話をしていきたいなと思っていたのですが、報告のほうはまだまとまり切れていませんし、学校側も異動等がいろいろあったりする中で、なるべく早く進めたいなと思いますが、楠委員の御意見は承りました。

ほかにございますか。

渡辺委員、どうぞ。

○渡辺委員 それで、私が心配するのは、学校は年間計画を前の年度にある程度つくってしまうもので、それに入らないときがまた後手後手に回るといけないので、きょうの前段のまだINGの状態ですが、それはそれでこっちへ置いておいて、次のことをできたら、正副委員長さん申しわけないですけれども、ちょっと早目に相談をかけておいてもらえたらありがたいなと思います。

○神谷委員長 ありがとうございます。

済みません、ちょっとお伺いします。高校生との意見交換会の開催の仕方ですけれども、来年度に向けて皆さんどのようにお考えになっていらっしゃいますか。

馬場委員。

○馬場副委員長 相手があることなものですから、幾らこちらから呼びかけても、先ほど渡辺委員が言われたように学校行事の中に入り込まないと実現できないと思いますので、それをできるだけ早く確認した中で、できれば同じような形でやればと私は感じます。

○神谷委員長 ごめんなさい。まず同じ方向というのは、高校生に司会進行。そこをちょっと確認したかったのです、開催の仕方です。日程等は難しいです。

○馬場副委員長 新居高校方式のほうがお互いに意見が出しやすいのではないかと感じましたので、できればその方向。ただ、やる会場は、学校なり、ここなりというところもあれば、それはまだ検討できる段階だと思います。まず、やるなら、そういう方法がいいのではないかなと感じました。

○神谷委員長 ありがとうございます。

吉田委員、どうぞ。

○吉田委員 高校生との意見交換会については、学校もちろん予定もあると思いますけれども、こちらの希望としては、できれば2学期末までに、12月末までをお願いするほうがいいのではないかなと。来年は、それこそ年が明けると、みんなも任期満了にもなるし、1月、2月になると新年度予算だとか、何だかんだと結構忙しいのではないかなと。ことしも、なかなか2月と1月のあれは済んでいたし、行政の視察も1月に我々には行っておったということで、そういう点では、できれば12月までというようにこの希望をさせていただきたいというのが私の意見です。以上です。

○神谷委員長 ありがとうございます。

ほかには、いいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○神谷委員長 では、そういったことを踏まえまして、また意見交換会のほうを進めさせていただきたいと思います。
では、お願いします。ありがとうございました。

○馬場副委員長 ちょうどお昼になりましたけれども、お疲れさまでした。

以上で第24回広報広聴特別委員会を終了とさせていただきます。御苦勞さまでした。

○神谷委員長 ありがとうございました。

〔午前12時00分 閉会〕

湖西市議会委員会条例第28条第1項の規定により署名する。

委員長 神谷里枝